

# 日本吃音・流暢性障害学会第11回大会準備委員会主催 ポストコンGRESのご案内

## Healing and Hope in Telling and Hearing Stories of Stuttering

### 吃音の体験談から与えられる...、癒しと希望

Speaker Kenneth O. St. Louis

West Virginia大学名誉教授

日米通訳  
あり!

大阪人間科学大学 10月27日(金) 13:00~14:30

広島大学 10月31日(火) 13:00~14:30

川崎医療福祉大学 11月1日(水) 18:00~19:00

会場：広島大学 フェニックス国際センター MIRAI CREA (ミライ クリエ)

所在地：東広島市鏡山一丁目4番5号 (広島大学東広島キャンパス南側)

中国 JR バス・芸陽バス JR 西条駅より約25分 大学会館前バス停下車すぐ

**参加費無料!**

詳細は大会 HP⇒  
をご覧ください。



**事前申し込みフォーム⇒**

10月27日(金) 17:00 まで  
にご入力ください。

※事前申し込みがない場合、満席の際に参加を  
お断りすることがございます。



講師紹介：ケネス(ケン)・セントルイス先生は、吃音の問題に50年以上の年月を捧げ、その理解と軽減に尽力されてきた言語療法士であり、かつてはご自身も吃音に悩まされたご経験をお持ちの方でもあります。先生は、吃音とクラタリングに関する研究成果を、米国内外のさまざまな地域で発表・出版してこられました。現在は、ウェストバージニア大学を退官されましたが、名誉教授として活躍されています。特に、吃音に対する一般市民の否定的な態度を理解し、和らげるための研究に情熱を傾けておられます。先生は多くの受賞歴があり、主なものとしては、IFA(国際流暢性障害学会)の生涯功労賞、ASHA(アメリカ言語聴覚学会)の荣誉賞があります。

講演内容：セントルイス先生は、ご自身とクライアントが吃音への旅路を共有し、サポートティブな環境で吃音にまつわるご自身の物語を他者と共有することで、最高の治療法ですら達成できないような癒しが得られることを学ばれました。

吃音に関する当事者個々のストーリーは、2001年に出版された『吃音とともに生きる：体験談、吃音の基礎知識、リソース、そして希望』という書籍の題材となり、その後2021年に出版された第2版でも取り上げられました。25年間にわたり、物語に焦点を当てた吃音支援グループを主宰され、2021年には、グループセッションを指導するための手引書『In the Company of Friends：吃音のある人への集団療法』を出版しました。この本には、グループセッションを行うための100以上のテーマに沿ったプランが掲載されています。

お問い合わせ先：[jssfd2023@miyamoto-lab.net](mailto:jssfd2023@miyamoto-lab.net) (宮本)

主催：日本吃音・流暢性障害学会第11回大会準備委員会、筑波大学人間系 宮本昌子研究室

共催：広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構